

表 105 結核対策特別促進事業・結核対策特別推進事業

厚生労働省通知に基づき、結核の罹患率や有病率の高い地域等で、地域の実情に応じ、効率的・効果的な結核予防対策を推進することを目的に、昭和 62 年度から重点的な対策事業として実施している。

事業名	内容
川崎市結核対策 DOT 推進事業 (川崎区)	野宿生活者、簡易宿泊所居住者等の治療困難者に対して効果的なDOTを実施し、治療中断・脱落を防止して特定地域（川崎区は全国平均と比較しても罹患率が高い）内の治療成功率・罹患率を改善する。 延対象者数（川崎区） 168 人（19 年末現在活動性 61 人 + 20 年新規 107 人）
川崎市結核対策 DOT 推進事業 (川崎市全域)	結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結菌の出現防止を図る。 延対象者数（幸、中原、高津、宮前、多摩、麻生区） 387 人（19 年末現在活動性 179 人 + 20 年新規 208 人）
治療成績評価事業	コホート検討会の開催により患者管理を徹底し、治療中断・脱落、治療失敗をなくすとともに多剤耐性菌の出現防止を図る。 開催回数 20 回 （川崎区 12 回、幸・中原・高津区 4 回、宮前・多摩・麻生区 4 回） 評価対象患者数 120 人 （肺結核喀痰塗抹陽性新登録患者数） 出席者 約 100 人
ハイリスク者集団健診	総数 265 人 野宿生活者等健診 119 人 一時宿泊施設 67 人 外国人労働者等健診 79 人

資料：健康安全室

表 106 結核対策特別推進事業・一般対策事業

事業名	内容
広報媒体による普及啓発	・結核予防週間を中心に市内広報掲示版にポスターを掲示 ・アゼリアビジョンへの広告掲出
講演会の開催	施設職員、医療従事者等を対象に保健所職員等が講演会を開催 出席者： 約 40 人 1 回
結核研究所派遣研修	結核予防業務に従事する保健所職員を、財団法人結核予防会結核研究所に派遣し、最新の情報に基づく専門的実践的な知識及び技術の習得を図る。 医師 3 人 臨床検査技師 1 人 保健師 6 人 事務職 3 人
保健所職員職種別研修会	対象：結核予防業務従事職員 1 回 出席者： 29 人 講師：(財)結核予防会結核研究所 臨床・疫学部副部長、疫学情報室長 大森 正子 先生 「サーベイランスを用いた対策評価と収集情報の精度管理」

資料：健康安全室